

2025年度 グランドシニア選手権 予選競技規則 (1955年12月31日以前に誕生した者)

競技委員会
委員長 宮本 達也

1. ジェネラル・エリア ノータッチ
2. 使用ティ 白色ティ (OBの場合は全て打ち直しとする。)
3. 使用コース 予選 松竹 18H.S
4. 日本ゴルフ協会ゴルフ規則および本競技ローカルルールを適用する。
5. 競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、全ての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。
6. コース内の階段・側溝・排水溝・道路・轍は動かさない障害物とする。
7. 競技者本人のクラブを積んだ5人乗り電磁誘導カートは携帯品とみなす。プレイヤーは乗車可とする。

8. 【使用球の規格】

正規のラウンド中は、最新の公認球リストに記載されている球を使用しなければならない。

【ローカル・ルール】

9. OBの境界は白杭にて標示する。修理地は青杭又は白線及びロープにて標示する。
OBの池は白杭、イエローペナルティーエリアの池は黄杭、レッドペナルティーエリアは赤杭をもってその境界とする。
10. ジェネラル・エリアで自分のピッチマークに球がくい込んでいるときはその球を拾い上げてふき、ホールに近づかずしかも球の止まっていた直後に救済エリアを設け、ドロップすることができる。
11. クローズド(Closed)の標示のある予備グリーンはプレー禁止の区域とし、その上に球が止まるかスタンスがかかる場合、競技者はゴルフ規則16.1fを適用しなければならない。このローカルルールの違反は一般の罰とする。
12. コース内の電磁誘導カート道の内、2本のコンクリート軌道は全幅をもってカート道路とみなし、球がその上にあるか又はスタンスがかかる場合、競技者は規則16.1fの救済を受けなければならない。このローカルルールの違反は一般の罰とする。
13. ホール間での練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習した場合は次のホールで一般の罰。最終ホールの場合はそのホールで一般の罰を受ける。
但し指定練習場(パッティンググリーン、バンカー・アプローチ練習場)は除く。
14. バンカー内の流水跡上にある球、および触れている球は同じバンカー内に無罰でホールに近づくことなく1クラブレンジス以内にドロップすることが出来る。

以上、特別競技規則に定めない事項は日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び2019年ルール改訂事項に基づく。

- ◎9月7日(日) 予選 18HSストロークプレー 8名選出
同ネットスコアの時は ①マッチングスコアカード
②カウントバック方式にて決定する。

※ 競技参加資格 HD制限無し (但し、J-sysハンディ取得者。)

(注 意 事 項)

- 1、プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげない様注意の事。
プレーの不当な遅延については罰打を課す場合がある。
- 2、ショートホールに於いて後続組がティグラウンドに到着している時はボールをマークして取り除き、前方組との間合いを考慮して後続組に打たせる事。
- 3、競技特別規則に追加、又は変更ある時は掲示して告示する。
- 4、自分のスタート時間20分前迄に競技受付を完了しない場合、1番ホールに一般の罰を付加しプレー可とする。但し、スタート時間10分前に競技受付をした場合、競技失格とする。
- 5、コース内での携帯電話の使用は、緊急時以外禁止とする。
電源をOFFにするか、ドライブモードにして下さい。
(音と振動を必ず消しておいて下さい)
- 6、サブバックの使用を禁止致します。
- 7、ナビの使用は可。ただし、ナビにスコアの入力は禁止。
- 8、**ブレザー着用にて受付を完了すること。**
- 9、ティーオフの10分前にはティーイングエリアに集合すること。
- 10、喫煙はティーイングエリアのみ可能とする(電子タバコ、加熱式タバコも同様)
- 11、安全上、健康上必ず着帽(ひさし付・バイザー可)すること。
- 12、コースコンディションにより当日競技委員の判断でプリファードライを採用する場合がある。
- 13、距離計の使用は、認める。※高低差表示は使用不可。使用した場合、失格とする。
- 14、スコア提出は、エリア方式を採用とする。
プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足がスコアリングエリアから出た時点で競技委員会に提出されたことになる。

※6.8.11項に違反した場合、同年度のクラブ競技へ参加は認めない。

(月例杯は除く)

2025年度 グランドシニア選手権 決勝競技規則

(1955年12月31日以前に誕生した者)

競技委員会
委員長 宮本 達也

1. ジェネラル・エリア ノータッチ
 2. 使用ティ 白色ティ (OBの場合は全て打ち直しとする。)
 3. 使用コース 決勝 松竹 18H.S
 4. 日本ゴルフ協会ゴルフ規則および本競技ローカルルールを適用する。
 5. 競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、全ての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。
 6. コース内の階段・側溝・排水溝・道路・轍は動かさない障害物とする。
 7. 競技者本人のクラブを積んだ5人乗り電磁誘導カートは携帯品とみなす。プレーヤーは乗車可とする。
 8. **【使用球の規格】**
正規のラウンド中は、最新の公認球リストに記載されている球を使用しなければならない。
【ローカル・ルール】
 9. OBの境界は白杭にて標示する。修理地は青杭又は白線及びロープにて標示する。
OBの池は白杭、イエローペナルティーエリアの池は黄杭、レッドペナルティーエリアは赤杭をもってその境界とする。
 10. ジェネラル・エリアで自分のピッチマークに球がくい込んでいるときはその球を拾い上げてふき、ホールに近づかずしかも球の止まっていた直後に救済エリアを設け、ドロップすることができる。
 11. クローズド(Closed)の標示のある予備グリーンはプレー禁止の区域とし、その上に球が止まるかスタンスがかかる場合、競技者はゴルフ規則16.1fを適用しなければならない。このローカルルールの違反は一般の罰とする。
 12. コース内の電磁誘導カート道の内、2本のコンクリート軌道は全幅をもってカート道路とみなし、球がその上にあるか又はスタンスがかかる場合、競技者は規則16.1fの救済を受けなければならない。このローカルルールの違反は一般の罰とする。
 13. ホール間での練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習した場合は次のホールで一般の罰。最終ホールの場合はそのホールで一般の罰を受ける。
但し指定練習場(パッティンググリーン、バンカー・アプローチ練習場)は除く。
 14. バンカー内の流水跡上にある球、および触れている球は同じバンカー内に無罰でホールに近づくことなく1クラブレンジス以内にドロップすることが出来る
- 以上、特別競技規則に定めない事項は日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び2019年ルール改訂事項に基づく。

◎9月14日(日) 決勝 18HSストロークプレー (松竹)

- ・1位がタイの場合、委員会が指定するホールにてサドンデスを行い決定とする。
- ・2位以下がタイの場合 ①マッチングスコアカード
②最後のホールからのカウントバック方式

※ 競技参加資格 HD制限無し (但し、J-sysハンディ取得者。)

(注 意 事 項)

- 1、プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげない様注意の事。
プレーの不当な遅延については罰打を課す場合がある。
- 2、ショートホールに於いて後続組がティグラウンドに到着している時はボールをマークして取り除き、前方組との間合いを考慮して後続組に打たせる事。
- 3、競技特別規則に追加、又は変更ある時は掲示して告示する。
- 4、自分のスタート時間20分前迄に競技受付を完了しない場合、1番ホールに一般の罰を付加しプレー可とする。但し、スタート時間10分前に競技受付をした場合、競技失格とする。
- 5、コース内での携帯電話の使用は、緊急時以外禁止とする。
電源をOFFにするか、ドライブモードにして下さい。
(音と振動を必ず消しておいて下さい)
- 6、サブバックの使用を禁止致します。
- 7、ナビの使用は可。ただし、ナビにスコアの入力は禁止。
- 8、**ブレザー着用にて受付を完了すること。**
- 9、ティーオフの10分前にはティーイングエリアに集合すること。
- 10、喫煙はティーイングエリアのみ可能とする(電子タバコ、加熱式タバコも同様)
- 11、安全上、健康上必ず着帽(ひさし付・バイザー可)すること。
- 12、コースコンディションにより当日競技委員の判断でプリファードライを採用する場合がある。
- 13、距離計の使用は、認める。※高低差表示は使用不可。使用した場合、失格とする。
- 14、スコア提出は、エリア方式を採用とする。
プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足がスコアリングエリアから出た時点で競技委員会に提出されたことになる。

※6.8.11項に違反した場合、同年度のクラブ競技へ参加は認めない。

(月例杯は除く)